

◆えぼし雪上花火大会

1月26日(土)19:00~



入場無料。別途駐車場代500円が必要。

会場・問/みやぎ蔵王えぼしスキー場 (蔵王町遠刈田温泉倉石岳国有林内) ☎0224-34-4001

◆松島三ツ星冬ランチ

2013年2月28日(木)まで

松島に拠点を置くプロの料理人が、松島町や宮城県内の食材を使った目にもおいしいランチを創作し、競い合う「松島・四季彩食料理コンテスト」の入賞11作品が、入賞各店で堪能できる。一律2500円。



グランプリ「美しき国松島『冬の彩り』」(松島の坊)

この松島三ツ星冬ランチを3種類以上食べてアンケートに回答すると、豪華賞品が当たるスタンプリーも同時開催。

提供施設/松島の坊、ホテル海風土、ホテル松島大観荘、小松館好風亭、花ごころの湯 新富亭、松島佐勘 松庵 れすとらん海音、田里津庵 問/四季彩食松島推進協議会(松島観光協会内) ☎022-354-2618

◆工芸Designの原点

—仙台発・国立工芸指導所をめぐる物語—

2013年1月11日(金)~16日(水)



玉虫塗製品の販売を行った東北工芸製作所(創業当時)の店構え

指導者として訪れたブルーノ・タウトをはじめ、戦前に仙台に設立された国の機関「工芸指導所」に関わった人物に焦点を

当て、仙台から始まった新しいものづくりの姿を紹介する。工芸指導所では、今や仙台を代表する伝統工芸「玉虫塗」も開発された。1月8日(火)~20日(日)には仙台ファーストタワーアトリウムで著名なデザイナーの家具に実際に触れて、使い心地を体感できる関連企画「あの名品に触れてみよう」も開かれる。

開催時間/10:00~20:00(最終日19:00まで) 会場/東北工業大学 一番町ロビー1階ギャラリー(青葉区一番町1-3-1) 問/仙台市市民文化事業団 ☎022-301-7405

子どもとの関わりで大人になる
人は結婚し、自分の子どもを持つて初めて大人になれると言われています。しかし結婚しなくても、自分の子どもでなくても、子どもと接し向き合ううちに「自分がどこから来たのか」「誰と関わって来たのか」が分かり、見えてくるものがあると思います。もちろん、大人との関わりの中でも成長はできますが、子どもと接することが一番の近道なのかもしれません。

グロリア (1980年)
監督はジョン・カサヴェテス。冒頭の水彩画風のタイトルバックから始まる、ニューヨークの夜

景から夜明けへと移る空撮がたまりません。プエルトリコ人で6歳のフィルの父親は、ギャングの会計係。お金をこまかし、さらにFBIやCIAに情報を流していることがばれ、家族ごと消される羽目になります。ギャングが襲ってくる直前、母親の友人であるグロリアが偶然訪ねてきて、フィルを預かり助けることに。子ども嫌いの中年女グロリアと生意気盛りのフィルの逃亡旅の始まりです。

音楽がいい。あの「ロッキーマウスのテーマ」の作曲者ビル・コンティがニューヨークの街をタクシードで逃げ回る二人を彩ります。逃亡の途中で、手下どもに見つかり、グロリア

●グロリア
発売・販売元/ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント
価格/1480円
DVD発売中



©1999/バンダイビジュアル・TOKYO FM・日本ヘラルド映画/オフィス北野

●菊次郎の夏
発売・販売元/バンダイビジュアル
価格/3990円



丹野 六右衛門/塩釜市在住、65歳。映画サークル「遊々シアターフレンズ」代表

は突然発砲して、手下どもを皆殺しにします。グロリアもかつてはギャングの仲間だったと分かります。グロリアとフィルとのつながりを母性本能と見ることでもできますが、人としての、同志としての義侠心(ぎぎきょうしん)だと思えます。とにかくグロリアが素晴らしい。「親が死んだなんて夢だと思えばいいさ。夢だから覚めたら元の通りさ」というせりふがありますが、ラストシーンも夢なのかもしれません。

菊次郎の夏 (1999年)
監督は北野武、主演はビートたけし。祖母と暮らす小学3年生の正男とフーテンの菊次郎との旅の物語です。写真でしか母親を知らない、独りぼっちの正男。夏休み、母親に会ってみたいくなり家出します。家を出た途端、中学生に恐喝されているところを女房とともに助けた菊次郎が、愛知県豊橋市まで正男を連れて行く成り行きに。

まあ、菊次郎はひどい大人で、本当に連れて行くことができるのか心配になります。正男はただ菊次郎に従ってついていくだけ。笑いがたくさんありますが、この映画を見て芭蕉の「おもしろうてやがて悲しき鵜舟かな」を思い出してしまいました。菊次郎が「おまえも俺と同じだな」とつぶやくシーンが心に染みます。